



高橋 八重典 議員
大栄会

問 市のイベントの将来は

答 市民が楽しみ満足する企画運営



▲健康フェスタの様様

問 イベント全体の関心度、周知度、満足度の検証は。

答 (商工観光課長) 行ってない。

問 なぜ検証しないのか。

答 市民におおむね満足いただいていると考えているため。

問 来年度の対策は。

答 実行委員会などにおいて来年度の開催に向け協議。

問 近隣市町の話題のイベントへ視察や参加は。

答 行っている。

問 市内イベントでも集客があるイベントの改善が早急と考えるがどう捉えているか。

答 (民生部長) イベント会場の連携ができるよう交通手段をつまく利用し運行方法、周知も含め今後の課題とする。

問 健康フェスタを例に取って現状経費と委託率は。

答 (健康推進課長) 総額402万8千円、委託率は42・2%。

問 全面委託にした際の経費と今年度対比は。

答 総額432万8千円、107・4%。

問 庁内での企画から全面委託にしては。

答 難しい。

問 市長の見解は。

答 (市長) 市民に満足していただくこと。関係者の意見や先進事例の取り組みを参考に、市民と協働。

問 市長の所信表明から以下を問う。
人口減少・少子高齢化の進行を踏まえたまちづくりの促進から関連して、コミュニティバスの全面見直しは継続されているか。

答 (危機管理課長) 継続している。

問 いつまでに、どこまでの見直しが予定されているか。

答 2020年に再編案などの報告を予定。

問 市長の今の考えは。

答 (市長) 75歳以上にコミュニティバスの無料パスカード、運転免許自主返納者に対し、高齢者等福祉タクシー利用助成券の交付を考えている。

問	市長の目指す 弥富市の未来像は
答	駅前周辺を活性化し 賑わい創出

問 既存企業の育成の観点から特区などの処置の考えは。

答 ない。

問 市長の今の考えは。

答 物流産業関連や航空宇宙関連企業などの誘致を進め、既存企業には事業が継続できるような育成支援を行う。小規模事業者には事業者の育成、支援を行っている。

問 市の玄関口として駅前周辺の活性化、賑わい創出から、個人商店の活性化が不可欠と考えるが市長の今の考えは。

答 賑わいの創出には駅周辺の活性化が必要であると考えている。